

第 32 回 (2024 年度)  
研究助成申請書

研究テーマをどの分野にて申請するか○をつけて下さい  
( 文系学部 ・ 理工系学部 ・ 医薬歯学系学部 )

公益財団法人 市原国際奨学財団 御中

申請者

ローマ字 \_\_\_\_\_ 性 別 男 ・ 女 \_\_\_\_\_  
氏 名 \_\_\_\_\_ 生年月日 年 月 日 (満 歳)  
所属大学・学部 \_\_\_\_\_  
職 階 \_\_\_\_\_  
自宅住所 〒 \_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_   
電話番号 ( ) \_\_\_\_\_  
E-mail \_\_\_\_\_

写真貼付場所

1. 縦 40 mm
2. 横 30 mm
3. 上半身

2. 共同研究者

氏 名 \_\_\_\_\_ ローマ字 \_\_\_\_\_ 生年月日 年 月 日  
氏 名 \_\_\_\_\_ ローマ字 \_\_\_\_\_ 生年月日 年 月 日  
氏 名 \_\_\_\_\_ ローマ字 \_\_\_\_\_ 生年月日 年 月 日  
氏 名 \_\_\_\_\_ ローマ字 \_\_\_\_\_ 生年月日 年 月 日

3. 研究テーマ

.....  
.....  
.....  
.....

4. 研究テーマの専門領域 (例えば電子工学など)

.....  
.....  
.....

5. この研究テーマが成果をおさめる時期

.....  
.....

6. 過去における助成金の受領の有無

A: 公益財団法人 市原国際奨学財団 (1) ない (2) ある ( 年度)

B: その他、国・民間財団・大学からの助成金の受領の有無

(1) ない (2) ある (年度表記は西暦記入)

年度 ( 助成金)

年度 ( 助成金)

年度 ( 助成金)



10. 助成金使途予定の内訳(機器については、機種と設置場所を備考に付記して下さい。)

費目	内 容	金 額	備 考
合 計 金 額			

(1) 注意点:助成金は研究計画の遂行及び取りまとめに必要な経費で、下記の「研究助成金費目一覧表」のとおりとします。

- ①謝金については、出来るだけ具体的に使用用途を詳細に記載してください。
- ②領収証(航空代金・新幹線等の運賃、宿泊費、設備備品購入費・・・等)については、各自で保管していただきますが、場合によっては提出をしていただきます。
- ③次の経費は認められません
  - ・研究者の人件費・生活費・授業料
  - ・研究成果の発表を目的として行う報告書の印刷・出版物の刊行・シンポジウムの開催・国際学術集会への参加に要する費用
- ④助成金の額及び性格上、消耗品費及び旅費交通費が主要な支出を占めることはお控えください。(それぞれ2割を越えない)
- ⑤助成金は当年度の研究活動に必要な経費に充てられるものです。過年度や翌年度の研究活動のための支出は認められません。

研 究 助 成 金 費 目 一 覧 表

費目	説 明
消耗品費	研究に必要な事務用品、試薬、その他の消耗品
設備備品費	研究に必要な機械、装置、器具、医薬品等
旅 費	研究のための出張(調査、会議出席等)に伴う交通費、宿泊費、雑費(保険料等海外渡航にともなう諸経費)
謝 金	研究活動に必要な資料整理・実験・測定調査・集計作業等の研究補助作業者に対する謝金 外部協力者からの助言、協力に対する謝金 ※できるだけ具体的に使用用途内容を記載してください
資 料 費	研究に必要な書籍、論文等の購入費 写真、マイクロフィルム、テープ、ディスク等、記録媒体の経費 調査票・集計表等の印刷費、書類の複写費
そ の 他	水道光熱費、機器・備品等の保守管理費、研修集会参加費、所属機関の定めによる間接経費、その他他の費目に該当しない項目





- 1 4. 学内あるいは学部内の「倫理審査に関する委員会」及び「臨床研究に関する審査委員会」等の承認書のコピーを添付して下さい。（承認書が無い場合は、無い理由を記載して下さい。）